



3方から現れただんじりが寄り合います

法被姿で祭りを満喫

尻海だんじり祭り

5月4日、尻海のだんじり祭りが（隔年開催）が開催されました。東町、市場町、西町から出た3台のだんじりは、3台三様のしやぎりや伊勢音頭で、にぎやかにやして町内を回っていました。

階段の下「スナノカド」でのしやぎりの奉納です。3方から現れた3台のだんじりが寄り合い、場所を占めます。多くの人がふるさとを離れても、祭りの日には帰省して祭りに参加。皆さんの法被姿や勇壮なだんじりが、色鮮やかな祭りの光景を見せていました。



大勢の皆さんで賑わいました

満開の桜を見ながらいただきます

玉津小学校でお花見給食会

玉津小学校（桐野敏幸校長・児童36人）が4月12日、校庭の桜の側でお花見給食会を開きました。同校は、1年生を迎える会を兼ねて毎年開催しており、今年も6人の新1年生が初めてのお花見給食会に参加しました。児童たちは、自分の好きなものをアピールしながら、一人ずつ自己紹介。満開の桜を見ながら、おいしく給食をいただきました。4月10日の入学式に誕生日を迎えた1年生の武久真依さんが、みんなに「おめでとう」とお祝いの声を掛けられる場面もあり、会は終始和やかな雰囲気になっていました。



全校児童が、和気あいあいと過ごすお花見給食会

「中世福岡の市」を再現

備前福岡の大手

長船町福岡の市場小路一帯で4月22日、備前福岡の大手が開催されました。福岡の市は、毎月第4日曜日に行われていますが、地元の人々と福岡の市がタイアップしたこの福岡の大手は、規模が定期市の倍となりました。市の会場には16のテナトが並び、地元産の野菜や郷土料理どどめせのおにぎりなどが販売され、大勢の人で賑わいました。また、世界の民族楽器を演奏する「路上ライブ」や「ミニ写真展」なども行われ、市を盛り上げていました。



参加者の皆さんに見送られ、次々とパレードに出発していきます

高めよう交通マナー

春の交通安全県民運動出発式

瀬戸内市役所で5月11日、交通安全母の会や市交通安全対策協議会などの関係者約250人が参加し、春の交通安全県民運動瀬戸内市出発式が行われました。交通安全功労団体へ感謝状が贈呈された後、邑久幼稚園の園児たちが「交通ルールを守り、事故に遭わないように気をつけます！」と元気よく交通安全宣言。また、邑久高校吹奏楽部による演奏が行われ、出発式に華を添えました。その後、瀬戸内警察署のパトカーなど13台がパレードに出発し、交通安全を啓発しながら市内を巡回しました。5月11日から20日まで市内各地で、春の交通安全県民運動が展開されました。家庭でも話し合い、本市から交通事故を1件でも減らすように心掛けましょう。

乗り降りがしやすくなりました

JR邑久・大富駅のホームを改修

利用者から改善の要望があったJR邑久駅と大富駅のホームの改修が、3月末に完了しました。両駅とも、約30センチ程度の車両とホーム間の高低差が改善され、11センチになりました。また、視覚障害者用の点字タイルもホームの端から端まで延ばされ、安全に歩行できるようになりました。



車両とホームの高低差が改善され、スムーズに乗り降りできるようになりました（邑久駅）

広げようまなびの輪

全国生涯学習フェスティバル瀬戸内市実行委員会設立総会



「生涯学習の成果とともに、瀬戸内市の歴史・文化を全国にPRしたい」とあいさつする立岡市長

第19回全国生涯学習フェスティバル『まなびの輪』が、11月20日（金）～6日（火）に、岡山県総合グラウンド・県内各市町村で開催される予定です。その大会を前に、牛窓支所で4月19日、全国生涯学習フェスティバル瀬戸内市実行委員会の設立総会が開催されました。本市は「瀬戸内シンフォニー 響きあうまなびの輪」をキャチフレーズに、11月3日（土）・4日（日）を中心に、イベントを計画。市民総参加のもと、この体験イベントを盛り上げていきます。